

# 大会規定

- 1 1チームの登録選手は中学部の部11名以上（小学生の部9名以上）20名以内とする。
- 2 出場選手は大会の登録締め切り日現在連盟への登録済みの者に限る。
- 3 審査証は当年度発行のものとする。
- 4 登録選手及びチーム責任者、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。チーム責任者とは、代表またはチーム責任者証携帯者とする。但し、各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）及び審査証（選手）または選手手帳を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは試合開始までに間に合った場合は審査のうえベンチ入りできる。  
また、選手は試合終了までに間に合った場合はその時点でベンチ入りを認める。チーム責任者は必ずベンチにはいなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
- 5 組合せの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。
- 6 監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニホームを着用すること。また、マネージャーは選手と同じ帽子を着用すること。
- 7 試合開始時刻60分前に試合場に到着し、到着と同時にオーダー表を5部本部（球場責任者）に提出し、所定の審査を受けられるように準備の上、待機すること。
- 8 オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻・後攻をジャンケンで決める。
- 9 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに到着しない時には、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
- 10 試合方法など
  - ・ 中学生の部
    - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則4.11（d）より勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
    - (2) 4回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回表終了時）10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
    - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
  - 小学生の部
    - (1) 各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則4.11（d）より勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
    - (2) 4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
    - (3) 6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回（決勝戦は9回）あるいは試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
- 11 (1) 投手については、中学生の部は1日最大80球、連続する2日間で120球を超えて投球することができない。  
小学生の部は1日最大70球、連続する2日間で105球を超えて投球することができない。
  - (2) 投手の投球制限の詳細は、別記「中学生投手の投球制限ガイドライン」「小学生投手の投球制限ガイドライン」による。

- 12 (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についても良いが、再び投手として登板することができない。
- (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
- (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる、その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用のついでの確認は認める。
- 15 監督またはコーチが投手に指示などをする時は、マウンドの所で行うこと。(ベンチから駆け足で)
- 16 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17 ボール回しをする時は一回りとし、最終捕手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18 投手は走者をアウトにする意思がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げるになるため禁止する。
- 19 小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 20 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具〔マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ(一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く)〕2組、AED(自動体外式除細動器)を備えること。
- 21 ユニホーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22 捕手は必ずヘルメット並びに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23 グランドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24 ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25 光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26 中学生の部の準決勝戦のみ試合前のシートノックを原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27 その他の規定は「(公財)日本少年野球連盟主催大会規定」「大会審査要領」「(公財)日本少年野球連盟大会規定の運用」「大会運用細則」「投手投球数制限の運用細則」による。

参考【野球規則4. 11 (d)】

4. 12 (a) によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- ① ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- ② ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちに、コールドゲームが宣せられた場合。

## 《タイプブレーク実施細則》

### (1) 特別規則

- (イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて（いずれか早い方）、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて（いずれか早い方）、小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて（いずれか早い方）、決勝戦9回あるいは2時間を超えて（いずれか早い方）、両チームの得点の得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
- (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- (ニ) この場合の代打及び代走は認められる。

### (2) チーム及び個人記録

チーム及び個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

#### (イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

#### (ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者ので出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

## 《中学生投手の投球制限ガイドライン》

### レギュラーの部・ジュニアの部 大会

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止とする。また3連投(連続する3日間)する場合は1日の投球数を40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止する。
- ② 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

### 中学生の部共通事項

ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。  
また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

## 《小学生投手の投球制限ガイドライン》

### レギュラーの部・ジュニアの部 大会

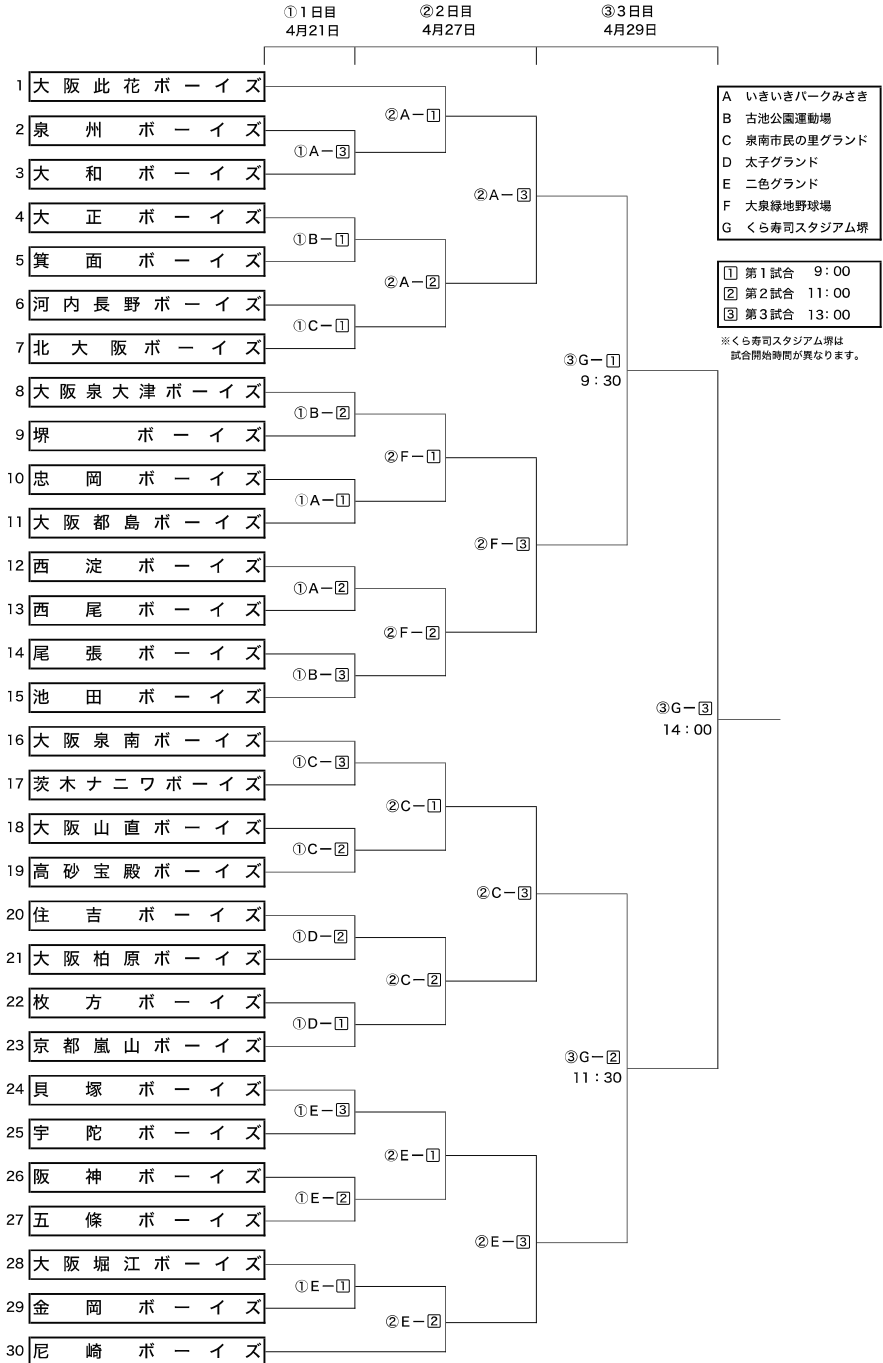
小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大70球とし、連続する2日間で105球以内とする。3連投(連続する3日間)は禁止する。
- ② 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ ボークは投球数としない。
- ⑤ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。

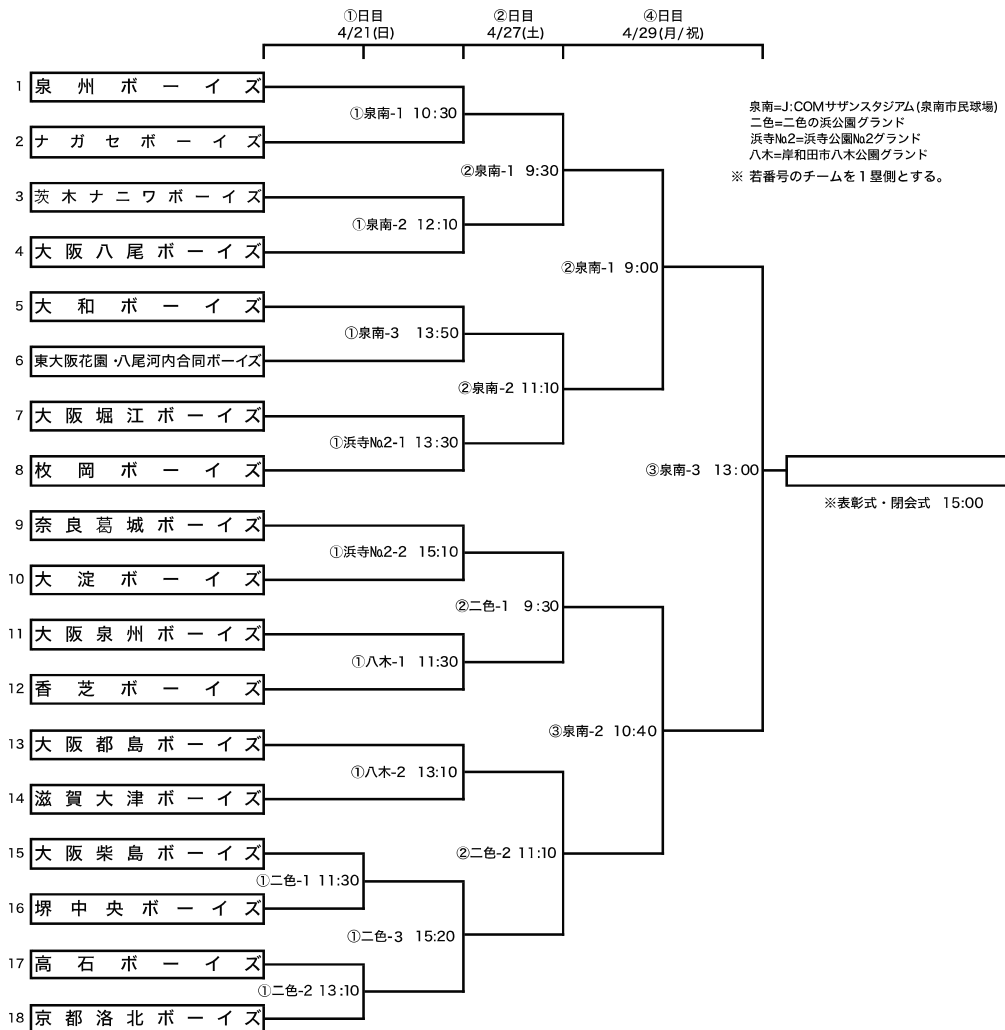
### 小学生の部共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は、連続2日間投球した事とし翌日の登板はできない。  
また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。
2. 下記の項目の制限は設けていないが指導者は十分配慮する事。  
小学生の部に於いては投手から捕手の制限は設けない。

## 第41回泉州大会組合せ（中学生の部）



## 第41回泉州大会組合せ（小学生の部）



## 第41回泉州大会球場及び試合予定時間（中学生の部）

使用球場		①4月21日	②4月27日	③4月29日
A	いきいき	① 9:00 ~ 11:00	① 9:00 ~ 11:00	
		② 11:00 ~ 13:00	② 11:00 ~ 13:00	
		③ 13:00 ~ 15:00	③ 13:00 ~ 15:00	
B	古池公園	① 9:00 ~ 11:00		
		② 11:00 ~ 13:00		
		③ 13:00 ~ 15:00		
C	市民の里	① 9:00 ~ 11:00	① 9:00 ~ 11:00	
		② 11:00 ~ 13:00	② 11:00 ~ 13:00	
		③ 13:00 ~ 15:00	③ 13:00 ~ 15:00	
D	太子	① 9:00 ~ 11:00		
		② 11:00 ~ 13:00		
E	二色	① 9:00 ~ 11:00	① 9:00 ~ 11:00	
		② 11:00 ~ 13:00	② 11:00 ~ 13:00	
		③ 13:00 ~ 15:00	③ 13:00 ~ 15:00	
F	大泉緑地		① 9:00 ~ 11:00	
			② 11:00 ~ 13:00	
			③ 13:00 ~ 15:00	
G	くら寿司			準決 9:30 ~ 11:30
				準決 11:30 ~ 13:30
				決勝 14:00 ~ 16:00

大会日程が雨天等により順延になった場合は、使用グラウンドが変更になる可能性があります。その際は、別途ご連絡いたします。

## 第41回泉州大会球場及び試合予定時間（小学生の部）

球場	順序	4月21日(日)	順序	4月27日(土)	順序	4月28日(日)	順序	4月29日(月/祝)	順序	予備日 5月3日(金/祝)		
泉南市民		川瀬080-6131-9969 (泉州)		川瀬080-6131-9969 (泉州)		川瀬080-6131-9969 (泉州)		川瀬080-6131-9969 (泉州)				
	1	9:00~開会式	小	1	9:30~11:10	小	1	9:30~11:00	EXJr	1	9:00~10:40	準決
	2	10:30~12:10	小	2	11:10~12:50	小	2	11:00~12:30	EXJr	2	10:40~12:20	準決
	3	12:10~13:50	小				3	13:30~15:00	EXJr	3	13:00~15:00	決勝
	4	13:50~15:30	小									
	5	15:30~17:00	EXJr									
浜寺No2		村田080-4021-1044(大阪堺区)										
	1	13:30~15:10	小									
八木		髙090-7879-4291 (大阪泉州)										
	1	11:30~13:10	小									
	2	13:10~15:00	小									
二色の浜		髙090-9054-8969(高石)										
	1	11:30~13:10	小	1	9:30~11:10	小						
	2	13:10~14:50	小	2	11:10~12:50	小						
	3	15:20~16:40	小									

大会日程が雨天等により順延になった場合は、使用グラウンドが変更になる場合があります。その際は、別途ご連絡いたします。